



【総力特集】全世界に届け！愛と夢とロマンのツブラヤワールド

P18

ウルトラマンとULTRAMAN

大好評の「モノ・マガジン」ウルトラマン特集第4弾！ 円谷プロ・Netflix共同製作のCGアニメーション長編映画『Ultraman: Rising』が6月14日から世界独占配信スタート。テレビではニュージェネレーションシリーズの新作『ウルトラマンアーク』が7月に放送開始など、初心者も往年のファンも大満足のウルトラマン情報がてんこ盛り！

- P20** 『Ultraman: Rising』の主人公サトウ・ケンの吹き替えを担当
山田裕貴さんへのヒーローインタビュー
- P22** 『ULTRAMAN: Rising』
(ウルトラマン：ライジング)は
こんなヒーロー作品だ！
- P24** ILMの日本人アニメーターインタビュー
『Ultraman: Rising』を大いに語る
- P26** ウルトラマン & エミのフィギュア登場！
子育てはつらいよ！ ウルトラマン
- P28** 『Ultraman: Rising』
S.ティンドル&J.アオシマ 監督インタビュー
- P30** 楽しい、集めてうれしいバンダイの新作一挙紹介
『Ultraman: Rising』 HOBBY CATALOG
- P32** タカハシヒョウリ×ガイガン山崎 対談
俺たちの好きな『帰ってきたウルトラマン』怪獣ベスト5
- P34** 俺たちの新たなヒーローをもっと知りたい！
ウルトラマンアークはこんなヒーロー
- P36** 『アーク』の主人公を演じる戸塚有輝さんインタビュー
NEWヒーローの素顔
- P38** 調査員たちの証言から紐解く
「SKIP」の人間関係
- P40** 『アーク』メイン監督・辻本貴則さんインタビュー
“想像するチカラ”に込められた想い
- P42** どこよりも早く最新情報をお届けします！
ウルトラマンアーク最新ホビー&グッズ大集合！
- P44** リスペクトしあえる関係が生んだスペシャルアイテム
空調服®️♥️ウルトラマン
- P46** 『ウルトラQ』『ウルトラマン』傑作67本の新事実と真実！
祝・新刊発行 桜井浩子インタビュー
- P50** 祝！ 15周年。感謝と祝福のブラックホールが吹き荒れる！
ウルトラマンゼロ
- P52** モノマガ的ウルトラマン考察①
ウルトラマンシリーズ・タイトル大作戦
- P54** モノマガ的ウルトラマン考察②
ウルトラ6兄弟の必殺技とスペシウム光線
- P56** ずっとあなたが好きだった！
昭和のウルトラマンと怪獣ソフビカタログ
- P58** いま“コレ”が買い！
ツブラヤストアONLINEオススメグッズ30選
- P60** ウルトラマン好きには見逃せない
ULTRAMAN NEW INFORMATION

mono

CONTENTS.2

2024.7-2 No.940

mono編集部モノ差し	007
うーん、うなるモノ	014
ジン・デポ	016
柳町正蔵の「ミステリー・キャスケット」	064
monoの大捜査線	106
【新連載】カトウが行く! ものモノ散歩	108
新製品情報	116
みんなの時計	118
モノ進化論	120
モノ・ショップ新聞	122
クロラボ	124
金属恵比寿 高木大地の「狂気の楽器塾」	136
みうらじゅんの「今月のグッとくる宝物ベスト2」	137
インフォメーション	138
バックナンバーリスト	139
次号予告	140
モノ・ショップジャーナル	141



【特集】3年連続上昇基調!?

ワクワクボーナス 買いモノ情報

066

2024年夏のボーナス、ひとりあたりの平均支給額は40万8770円と予想されている。前年比2.9%の伸び、3年連続増加が見込まれているとか。ならば家庭の備品や我慢していた趣味モノを、今年はゲットできるんじゃない? そこで今回、モノ・マガジンがオススメする新製品や旬のギア、オモシログッズ情報を羅列する!

【連載企画】 文と構成／河村喜代子 写真／英国戦争博物館、米陸軍、AAFES、WPPコレクション
Text & Edit/Kiyoko Kawamura Photo/IWM, US Army, AAFES, WPP Collection

兵士が行くところならPXも行く。 ポスト エクスチェンジ物語 第35回

第2次世界大戦が終戦すると、アメリカ軍は本国に帰国する。だが、冷戦の勃発とともに再度、彼らはイギリスに戻ってきた。1940年代から50年代にかけての米軍の存在は、イギリス軍や兵站に影響をあたえた。そんな部分を今回は追いかける。



【空飛ぶ円盤の本の表紙】
Source/Galactic Central

【特別企画】最新宇宙人界限ニュース UFOからUAPへ 宇宙人はそこにいる!

085

文と構成／中村省三
フライング・ソーサーや空飛ぶ円盤として、空に現れた奇妙な物体。未知の世界があるなら、絶対に知りたい。地球外生命体は恐怖だけど、正体をつかみたい。そんなUFO未確認飛行物体をめぐる界限が、今、ざわついている。UFO 枠に収まらないそれらは、現在はUAPと呼ばれている。未確認な現象が出現するのは、エアリアル（空中）だけに限らない。そこでUAPとは、未確認なアノマラス（異常）現象として追跡されているのだ。

【宇宙船が動物を攫いに来ている】
Source / pixabay.com





【総力特集】全世界に届け！愛と夢とロマンの ウルトラマンと 『ウルトラマンアーク』

大好評の「モノ・マガジン」ウルトラマン特集第4弾！ 円谷プロ・Netflix共同製作のCGアニメーション長編映画『Ultraman: Rising』が6月14日から世界独占配信スタート。テレビではニュージェネレーションシリーズの新作『ウルトラマンアーク』が7月に放送開始など、初心者も往年のファンも大満足のウルトラマン情報がてんこ盛り！
文/モノ・マガジン編集部

『ウルトラマンアーク』

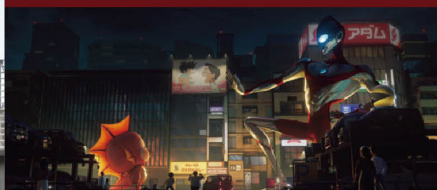
星元市にある獅子尾山には、異彩を放つ巨大な物体「モノホーン」がそびえ立つ。世界各地で怪獣が同時に出現した「K-DAY」と呼ばれる事件以降、怪獣災害が日常化。怪獣災害の発生・甚大化を防ぐため、地域に密着して科学調査や避難誘導を行う怪獣防災科学調査所・通称「SKIP」の新人ユウマが、星元市分所に配属される。そして……。



『Ultraman: Rising』

父親のあとをつぎ、ウルトラマンとしての使命を果たすため、やむなく故郷である日本へ帰った野球界のスーパースター、サトウ・ケン。すべては、東京を怪獣から守り、歴史に名を刻むヒーローになるためだった。しかしある日「宿敵」の子である“赤ちゃん怪獣”の世話を任せられることになるが……。

ツブラヤワールド ULTRAMAN 『Ultraman: Rising』



「つかりと継承しつつも、無限に夢を与えてくれる作品となっていて、特撮ファンはもちろん、大人も子供も是非チェックして頂きたい。乞うご期待！」

昨年、創立60周年を迎えた円谷プロダクションは、61年目となる今年も特撮を原点に、空想作品の道をひと筋に歩み続けている。開始から58年のウルトラマンシリーズは、優れた特撮技術で夢を育み、人間や文明のあり方を問う作品で世の中に刺激を与え、コンテンツビジネスの先駆者としてもモノ文化にさまざまな影響を与え続けている。ウルトラマンの世界観は、日本人のみならず、もはや世界中の特撮ファンから支持されているのは言わずもがな。常に時代性と普遍性を意識したウルトラマンが生み出されてきているが、今夏、ふたつの新作『ウルトラマンアーク』と『Ultraman: Rising』が登場する。しかも『ウルトラマンアーク』は実写作品、かたや『Ultraman: Rising』はアニメ作品となっていてコンテンツも大きく異なる。ウルトラマンの持つポテンシャルはもちろん、キャラクターやストーリー、世界観も違う。どちらの作品も摩訶不思議なビジュアルはしっかりと継承しつつも、無限に夢を与えてくれる作品となっていて、特撮ファンはもちろん、大人も子供も是非チェックして頂きたい。乞うご期待！

日本時間7月6日 朝9時からテレビ東京系6局ネット発 ウルトラマンアークは

2024年の新たなウルトラマンとして登場する『ウルトラマンアーク』が、日本時間の7月6日 朝9時からテレ東系6局ネットの力を駆使して人と地球の未来を守る新たなヒーローの誕生に胸が高鳴っている人も多いと思うけど、そんなウルト

続々と登場する新怪獣にも目せよ!

16年前、各地に怪獣が同時出現した「K-DAY」以降、怪獣災害が日常化し怪獣たちが頻りに出現する「ウルトラマンアーク」では、さまざまな新怪獣が登場! 強固な甲殻に覆われたシャゴンや昭和第2期〜「80」のウルトラ怪獣を彷彿とさせるリオドが怪獣然としたスタイルなのに対し、人型に近くどこか不気味なディゲロスのギャップが気になる。今後の新怪獣の登場と活躍にも期待大!



2015年の「ウルトラマンX」以来、7シリーズに参加してきた辻本貴則監督。アクション映画監督としても活躍し、凝ったミニチュアワークや大胆なキメのカットなどで特撮ファンへの支持も厚い辻本監督が満を持してのメイン監督登板となる。1970年代に放送された通称「第2期」と呼ばれるシリーズのファンとしても知られ、「ウルトラマンアーク」でもタイトルバックに「帰ってきたウルトラマン」風のプリズムを採用するなど、第2期愛の片鱗を見せている。

本作は「想像力」をテーマに、子どもたちの「夢見る力」をかき立てる、未来への希望に満ちた明るい世界観が特長。さまざまな作風が制作されてきたウルトラマンシリーズだが、その原点である「ウルトラマン」の力フルで温かさに満ちた「空想特撮」の世界への回帰が感じられる作品となりそうだ。

変身アイテムは アークアライザーと アークキューブ

ユウマがウルトラマンアークに変身する際に使用する神秘的アイテム。アークキューブの側面を押して起動し構えると胸の前にアークアライザーが出現、その中央にキューブを装填することでウルトラマンアークに変身する。アークに変身するためのアークキューブのほか、各アーマー用のソリスアーマーキューブやルーナアーマーキューブなども存在する。

アークアライザー



アークアイソードは多彩な超能力技も 発動できるアーク自慢の愛刀!

アークが顔の前で剣をかざすように構えると出現する最強武器。柄と刀身の間の部分がアークの両目と額のマークと重なり合う形状が特長だ。通常の剣技に加え、アイソードコアにアークキューブを装填することで多彩な技を発動することもできる。必殺技は振り向きざまに電光石火の一閃を浴びせるアークソードフィニッシュだ!

接近戦が得意な“太陽の鎧”と空中戦で威力を発揮する“月の鎧”



“太陽の鎧” ソリスアーマー

エネルギーの消耗でアークのカラータイマーが点滅したときに装備可能となる鎧がアークアーマー。太陽の鎧・ソリスアーマーは接近戦を得意とするパワー形態で、月の鎧・ルーナアーマーは空中戦を得意とするスピード形態。それぞれユウマが子どもの頃に描いた「たいようのちから」、「つきのちから」の絵にそっくりの姿をしている。

“月の鎧” ルーナアーマー



無敵の必殺剣
アークアイソード!!

世界同時期放送&配信がスタート! こんなヒーロー

ト発 世界同時期放送&配信スタート!
ランアークの最新情報をここでは一挙紹介したい。 文/タカハシヒョウリ

解き放て!
想像の力!

2023年にシリーズ10周年を迎え、世界中で熱い支持を集めている「ニュージェネレーションウルトラマン」シリーズ。その最新作が、まもなく放送開始を迎える「ウルトラマンアーク」だ。

優しくてまっすぐな性格の青年。本作の主人公である飛世ユウマが、迫り来る危機から人と地球の未来を守るために、はるかかなたの銀河系から地球へ降り立った光の使者と一体化して新たなヒーローであるウルトラマンアークへと変身する。ユウマが入所する「SKIP」は、いわゆる怪獣退治を目的とする防衛隊ではなく、さまざまな専門知識を駆使して怪獣災害の調査を行う組織となっている。本作のメイン監督を務めるのは

モノホーンと名付けられた 怪獣の角が意味するものは?

世界各地で怪獣が同時に出現した「K-DAY」に際し、星元市は宇宙獣モノゲロスの襲来による怪獣災害に見舞われた。市の境にある獅子尾山の山肌にはモノゲロスの巨大な角が突き刺さった状態で残っており、SKIPは調査を続けている。じつは、この怪獣災害に少年時代のユウマも巻き込まれていた。



怪獣防災科学調査所「SKIP」に所属する4人の調査員に加え、 AIロボの「ユビー」の活躍も見どころのひとつ!

怪獣防災科学調査所・通称「SKIP」は各地域に密着した怪獣災害の調査を専門とする国立研究開発法人。ユウマが入所したSKIP星元市分所には「ユビーにおまかせ」が口ぐせのAIサポートロボ「ユビー」(上写真左)が所属していることにも注目。頭部「ユ」(右)と胴体「ビー」に分離し、空から陸から仲間たちをサポートする。CVは広瀬裕也さん。



What's ULTRAMAN ARC? ウルトラマンアークとは?

身長48m 体重3万2000t。主人公の飛世ユウマが想像力を解き放つことで、はるかかなたの銀河系からやって来た光の使者「ルティオン」と一体化して顕現した光の巨人。想像力をパワーの源とし、幼いころにユウマが描いた「さいきょうのヒーロー」のスケッチに酷似した姿をしている。同じスケッチに描かれた「へんしんどうぐ」に似た変身アイテムのアークアライザーにアークキューブを装填することで神秘的な光を解放して変身できる。必殺技は両手をクロスして放つ「アークファイナライズ」だ。

必殺技は
両手をクロスして放つ
アークファイナライズ

祝・新刊発行

桜井浩子

Hiroko Sakurai

インタビュー

2024年ヒロインの挑戦。傑作『ウルトラQ』『ウルトラマン』のヒロイン桜井浩子さんが、記憶のすべてを綴る書籍作りに挑んだ。気になる内容の一端が、共著者・青山通氏との対談で明らかに。あなたの目はあなたの体を離れ、58年前の撮影現場へタイムスリップするのです

写真／熊谷義久
文／秋田英夫、モノ・マガジン編集部

色褪せぬウルトラの思い出

――企画成立から本書の完成まで、実に2年以上もの歳月がかかったそうですね。実際の作業はどのような形で進んでいたのでしょうか。

青山 最初は桜井さんに『ウルトラQ』全28話、『ウルトラマン』全39話を観ていただいて、僕が原稿にまとめていくインタビュ形式でした。『ウルトラQ』第1話から『ウルトラマン』最終回(第39話)まで取材するのに、全部で8日間時間にして22時間くらいかかりました。桜井さんのお話があまりにも面白くて、インタビュ中はずっと笑いつばなしてしたね(笑)。しかし、桜井さんご自身でないとうからない現場のニュアンスが、今ひとつ伝わらない。そこで、僕が原稿を桜井さんにリライトしていただくことになったんです。

櫻井 青山さんの着眼点はすごいんですよ。最初の「青山版」原稿もよくできていたので、数年後に出して売りますよ(笑)。ですが作り手たちが伝えたかったこととファンの方たちが知りたいこととで少しズレがあるというか、重ならないところがあるんです。両者のちようど中間を書くことがで



ケロニア

桜井 詳しくは本書を読んでいただくとして（笑）。例を挙げる『ウルトラマン』

第31話「来たのは誰だ」で、クロゼットの「ケロニア（等身大）」が出てくるシーン。あれ、事前に何も知らされていなかったものですか、私はほんとに驚いているんです。芝居じゃありません。樋口祐三監督はあえて、事前にケロニアの姿を私に見せないようにして、リアルな驚きの表情が見たかったんだと思います。監督をはじめ、スタッフの策略ですよ（笑）。ケロニアの目から出た光線を私が浴びて、倒れ込むシーンでは、どんなリアクションをとればいいのか、いろいろティクを重ねて、最終的に「これでいいこう」と決まったのがあの芝居なんです。本書では、撮影したけれど編集で落とされたシーンや、数秒間の映像を撮るための準備やテストなど、フィルムとして残っていないまでも私の心の中に存

ヒロインの記憶

きるのは、私なんだろうという
思いがありました。

——『ウルトラQ』『ウルトラマン』のメイキング要素がふんだんに盛り込まれているということですが、撮影当時、印象的だった出来事を教えてくださいませんか。

「『ウルトラQ』『ウルトラマン』全67作撮影秘話

6月27日発売

著：桜井浩子・青山通／価格：2420円／

発行：アルテスパブリッシング

あのとき、現場では何が起こっていたのか——。シリーズ草創期のヒロインが快活『ウルトラセブン』が「音楽」を教えてくれた』の青山通とタッグを組み、『Q』『マン』全作品の撮影エピソードを初めて明かす！ 最高の作品ガイドブックであり、傑作創出の記録だ。



全
28
話を語る

在している光景を、活字にして残したいと思ったんです。

青山 ウルトラ怪獣ファン的には全怪獣の中でも別格扱いにカッコいいと思っているゼットン（第39話「さらばウルトラマン」）を、桜井さんが「嫌い」っておっしゃって、びっくりしました。

桜井 科学特捜隊の隊員なら当然です！ 基地もぜんぶ壊しちゃって、ウルトラマンも倒してしまつて、憎らしいじゃないですか（笑）

最終回では、平田昭彦さん演じる岩本博士(のニセ者)にフジ隊員が首を絞められるシーンが印象的でした。平田さん、手が冷たいなあっ

て……そのときの感触もはっきり覚えています。後半で、岩本博士に化けていた宇宙人が正体を明かして逃げていきますけど、あのスーツ

には、もしかして平田さんご本人が入っていたのかもしれないね
怪獣や宇宙人が出るときは、現場

全 39 話を語る

A woman with long dark hair, wearing a bright orange jumpsuit with black trim and a matching tie, sits in a futuristic control room. She is holding a small, round, metallic device in her hands. The background is filled with various control panels, buttons, and dials, suggesting a high-tech environment from the mid-20th century.



『ウルトラマン』
科学特捜隊隊員
フジ・アキコ

年齢21歳。本部で連絡や通信を担当する一方、事件の渦中に飛び込んで怪獣や宇宙人と戦う勇気ある隊員。入隊以来一度も休暇を取らないほど仕事熱心。真珠に魅せられたり和服で野点をするなど女性的な面も持つ。サトルという弟がいる。



鬼才・実相寺昭雄監督

『ウルトラマン』で数々の異

色作・話題作を手がけられた実相寺昭雄監督は桜井さんを非常に気に入って、フジ隊員のいろいろな面をフィルムに残すべく、力を尽くされたそうですが……。

桜井 私はジッソーさん（実相寺監督）のことを「大嫌いな監督」だとインタビューで言い続けて

います(笑)。第14話「真珠貝防衛指令」のときだって、シヨウウインドウ越しに真珠を眺めるシーンで、もっと顔くっつけて、くっつけてと言われるもんだから鼻がベッチャンコになるまでくっつけて、さすがにここは使わないだろうと思っていたら、使ってるし!! あと第34話「空の贈り物」で私の顔を魚眼レンズで撮っ

青山「空の贈り物」でウルトラマ



シューケアグッズも充実。店内ではシューケアのアドバイスも。今回取材に応じてくれた岩井さんは、靴磨き選手権への出場経験あり。



1984年創業時は、現在も取り扱うアレン エドモンズをはじめとしたアメリカブランドを多く揃えていたトレーディングポスト。現在はイギリス、イタリア、スペインなど幅広いセレクトを披露する。

ボーナス出たんだって？

トレーディングポスト40周年

そうだ、トレポスに靴を買いにいこう

ここ数年でビジネススタイルにおける常識がアップデートされたように、良い革靴の定義も刻々と変化している。では、今年のボーナスで狙うべき良い靴の条件とは？ それを知るなら、革靴販売の最前線を訪れるのが一番だ。

写真／鶴田智昭(WPP) 文／安岡将文

ワクワク
ボーナス
買いモノ情報



トレーディングポスト青山

オススの4足



Trading Post トレーディングポスト TP1984

価格8万5800円
浅草の職人が手がけるオリジナルのなかでも最高峰のプレステージコレクション。日本人の足形に沿ったラスト66を用い、アッパーには重厚感のあるダークブラウンカーフが。

Staff Recommend

「シームレスバックをはじめ、細部まで丁寧に作り込んでいます。インポートなら倍以上の価格になるクオリティだと自負しています」



Crockett & Jones クロケット アンド ジョーンズ チャード

価格11万3300円
ヴァンプを取り囲むパーフォーレーションが見どころ。ローファー専用ラスト393は、スリムなヒールとトゥシェイプによるスタイリッシュなシルエットで色気を楽しませてくれる。

Staff Recommend

「トレーディングポストの別注です。アーカイブを参考にしたものですが、ローファーを既にお持ちの方でも新鮮に履いて頂けるかと」



Crockett & Jones クロケット アンド ジョーンズ ミッドハースト3

価格18万1500円
ボリュームのあるラウンドトゥやダブルソールは、スラックスからカーゴパンツまでマッチ。美しい光沢に加えて希少性の高いウイスキーコードバンは、経年変化をより楽しめる。

Staff Recommend

「一見無骨ですが365ラストはトゥの高さが控えめですっきり。希少性が高い革なので、入荷数も限られます。ご購入はお早めに」



Edward Green エドワード グリーン ドーバー

価格27万3900円
1890年創業のイギリス・ノーサンプトン屈指の名門。こちらは、ハンドソーンによるスキンステッチが特長。アンティーク調のダークオークカラーは、ここが第一人者と言われる。

Staff Recommend

「ドレスリーなモデルですが、内羽根のチェルシーと比べると、意外にカジュアルなコーデにも合います。名作にして懐かしいです」

SCOOP!!

40周年 記念企画が 目白押し



例えばエドワード グリーンでは、一般的に流通しない超レアな木製ラスト808を採用したストレートチップが登場。クロケット & ジョーンズからは、名作オードリーの別注ラストなどが。

創業40周年を記念したスペシャル企画が続々と進行中。こちらはその一部で、エドワード グリーンやクロケット&ジョーンズといった名門とタッグを組んで、最高峰の靴を完成させたとか。販売スタート予定は、今年の秋頃。プレミアムモデルになることは確実だ。



トレーディングポスト青山

④ 東京都港区北青山3丁目5-2
EVOL AOYAMA 1F/2F
☎03-5474-8725 ⑨11:30~20:00
不定休

文字通り一生モノとの出会いが約束された名店
良い靴との出会いを求めて訪れたのは、トレーディングポスト青山本店。海外の名門から国内の実力派、さらにオリジナルブランドも展開する同店は、今年40周年を迎えた。革靴好きなら当然知られた名店であり、エドワードグリーンやクロケット&ジョーンズといった今となってはお馴染みの名門をはじめ、多くのブランドを先駆けて取り扱ってきた。
そんな同店によれば、今注目すべきキーワードはふたつある。(オンオフ兼用)と(時代を問わない名作)だ。前者はビジネススタイルがカジュアル化した今、以前はあくまでカジュアル靴だったローファーも選択肢に。さらに、スラックスにもデニムにも合う外羽根でボリュームのあるブレイントウなど、オンオフ兼用できる革靴の人氣が定着しているのだ。そんな事情について、マネージャーの岩井さんは「ローファーは、もはや革靴選びの最有力に。紐がない分、フィッティングの重要度が増すので、試着は必須です」と語る。(時代を問わない名作)は、スーツスタイルのクラシック回帰が続くなかにあって、やはり名作の安定感に頼りになる。「昨今は今までになかった色の提案も増え、名作の楽しみ方が幅広くなりました」。インポートが年々価格高騰しているなか、コスパを考えるとオリジナルブランドへの興味も高まるばかりだ。

1960年代の後半になつて、UFO現象に新たに登場してきたなんとも不気味な事例がいわゆる「アブダクション・ケース」である。それが初めて

誘拐と人体実験の犠牲者「アブダクティ」 邪悪な宇宙人グレイが人間をさらって記憶を消していた!

1960年代になってUFO神話の最も華やかな面を示していたコンタクティから、最も深淵な面を示すアブダクティが浮上してくると、UFO研究家の世界に深刻な分裂もたらした。

9月19日の深夜、休養先のカナダからニューハンプシャー州ボートマスに自宅に向けて車を走らせていたヒル夫妻は前方上空に明る

て双眼鏡で空中の物体を観察した。それはジェット機よりも大きな円形の物体で、明かりのついていない一列に並んだ窓から複数の人影が見えた。



右: パーニー・ヒルが描いた円盤のスケッチ。機体の両端にフィンがあり、その先端には赤いライトが点っていた。

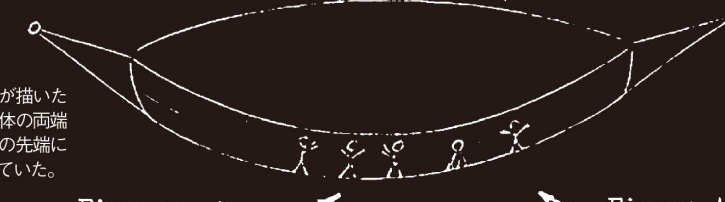


ヒル夫妻UFO誘拐事件の再現イラスト。地上30mのところに浮かんでいるUFOはジェット機よりも大きな円形の物体で、側面にずらりと並んでいる窓のところに数人の黒い人影が見えた。⑥

一致していた。彼らは小柄な宇宙人たちに車から引きずり出されて円盤の中に連れ込まれていた。そして夫妻は別々の部屋に入れられて、長時間にわたって身体の医学的検査をされていたのだ。ヒル夫妻を誘拐した宇宙人は身長1・5mくらいと小柄で、顔つきは吊り上がった大きな目が顔の側面まで長く伸びていて、口と鼻は押しつぶされたように、唇がなく、耳は穴が開いているだけだった。

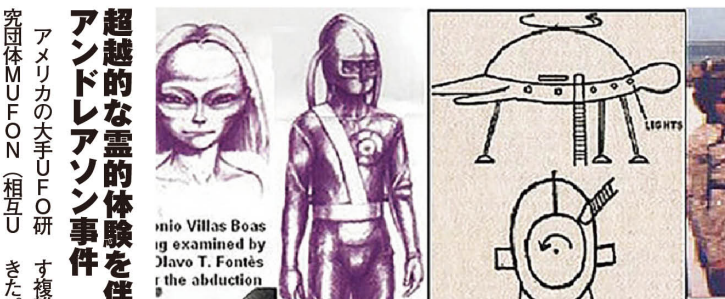
ヒル夫妻の事件が公表されて以来、アブダクション事件が頻発するようになり、その後のUFO事件に多大の影響を及ぼすことになった。さらに以前に起きたアブダクション事件で、あまりにも奇妙なため、それま

でまともな扱われてこなかった事例にも、あらためて注目が集まるようになった。1957年10月15日にブラジルで起きたアントニオ・ビリヤス・ボアス事件である。ミナスジェライス州の農夫ビリヤス・ボアスがトラクターで作業していると、UFOが接近してきてトラクターが動かなくなった。着陸したUFOからグレイのヘルメットとオーバール姿の小柄な宇宙人が現れて彼を捕まえた。さらに3人の宇宙人が出現すると、彼らはビリヤス・ボアスをUFO内部に連れ込んだ。ビリヤス・ボアスはUFOの中で裸にされると、しばらく一人で残されていた。そこに金髪の女性宇



右: パーニー・ヒルが描いた円盤のスケッチ。機体の両端にフィンがあり、その先端には赤いライトが点っていた。

宙人がやってきて、ビリヤス・ボアスと性行為に及んだという。その女性宇宙人は身長1・5m程度、髪は白に近いブロンドで、大きくて吊り上がったフルーの目をしていて、白い肌をしていて、耳も鼻も小さく、唇はほとんど見えなほど薄かった。横広がり顔で、頬骨が高く張り出していた。顔の下側は急に細くなっていて、顎が尖っていた。体つきはほっそりしていて、ウエストも細かった。尻は大きく、太腿が発達していた。足は小さく、腕は長く細かった。陰毛は血のように赤かったという。



Antonio Villas Boas examined by Dr. T. Fontes in the abduction

アブダクション・ケースはますます複雑怪奇な様相を呈してきている。その中でも、アメリカの大手UFO研究団体MUFON(相互UFOネットワーク)やハイネック博士のCUFOSの主要メンバーで、UFO研究者として評判の高いレイモンド・ファウラーが1979年に出版した「アドレアン・アフェア」邦訳外宇宙からの帰還」によって

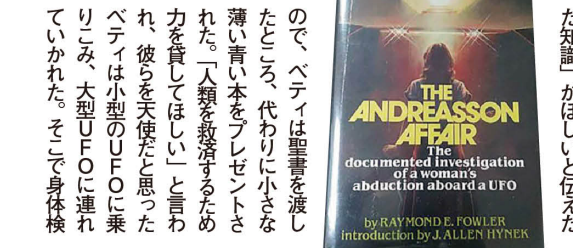
5人の小人たちが一列になつてすべるようにして家の中に入ってきた。クアズガ(小人たちのリーダー)がテレビ画面で「火の試験を経て知識がほしいと伝えた

この複雑怪奇なアブダクション事件についてファウラーはその後調査研究を続けていき、現在までに著作を4冊発表している。このアドレアン事件がハイネック博士の「評価尺度でハイ・ストレンジネス」に評価される非常に重要な事例だということでは間違いない。

宇宙船に寄せられたアンドレアソンがガラスのようなどかき面が赤い世界に入り、建物のいたるところに大目玉のサルのような生物がいた。



専門家による退行催眠セッションを受けているアドレアン夫人。この退行催眠によって夫人は10年前の信じがたいアブダクション体験をまざまざと思い出している。



ので、ベティは聖書を渡したところ、代わりに小さな薄い青い本をプレゼントされた。「人類を救済するため力を貸してほしい」と言われ、彼らを天使だと思ったベティは小型のUFOに乗って、大型UFOに連れていかれた。そこで身体検



Publisher
今井今朝春
Kasaharu Imai

Editor-in-Chief
前田賢紀
Takanori Maeda

Deputy-Editor
関谷和久
Kazuhisa Sekiya

松崎薫子
Kaoruko Matsuzaki

Editor
小野正章
Masaaki Ono

大谷 暁
Satoru Otani

片岡静香
Shizuka Kataoka

加藤文晶
Fumiaki Kato

友井健人
Taketo Tomoi

竹本 泉
Izumi Takemoto

藪崎 大
Dai Yabuzaki

Directing Editor
土居輝彦
Teruhiko Doi

Art Director
若山トシオ
Toshio Wakayama

Designer
フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics

小柳英隆 (雷伝舎)
Hidetaka Koyanagi (Raidensha)

Staff Photographer
鶴田智昭
Tomooki Tsuruda

青木健格
Takenori Aoki

Advertising Director
坪井一雄
Kazuo Tsuboi

鈴木敏弥
Toshiya Suzuki

上田秀一
Shuichi Kanda

Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP
Base, Nagi

ワールドフォトプレス総合サイト

モノ・マガジンweb

https://www.monomagazine.com/

に遊びに来てね!



SNSでも新鮮情報発信中! フォローしてね!



https://www.facebook.com/monomagazine1982/



https://twitter.com/monomagazineweb/

スマホでもモノ・マガジンが読める

「dマガジン」「楽天マガジン」「ビューン」をチェック!

NEXT

次号予告

特集

特集

総力特集

■うーん、うなるモノ

■モノ進化論

■mono編集部モノ差し

■monoの大捜査線

オールジャンルでお届けする
話題の新製品テストレポート
日々、登場する新製品。とは言えモノが溢れる社会だから、新製品も玉石混交。その中からどれを選ぶのが正しいのか、使ってみなければわからない。そこで、最新電動バイクから、夏の風物詩のお化け屋敷、タイパ調理家電やデジカメ、口腔ケア機器など。巷で話題の新製品を編集部スタッフとライター陣が、読者に代わってテストレポート!

最高にアツい身にとまどう道具箱ベスト大研究!
BEST of VEST!
今夏、釣りに焚き火にマリンスポーツに、外遊びを楽しむなら、両手がフリーに使えるベストが最適かも! というわけで巷で人気の多機能ベストを大研究。多機能ポケット満載のフィッシングベストをはじめ、究極のカメラマベストやフロッピーディングベストまで、フィールドにも街にも対応する質実剛健なベストたちを一挙ご紹介!

そうだったのか! ハイキング&低山トレッキング
夏山を歩こう!
今回は気軽にハイキングや低山トレッキングを楽しむためのギアやウェアをたっぷり紹介する! 暑さ対策のハイキンググッズをはじめ、軽量化トレッキングシューズやクールな新素材ウェア、そして小型バックパックなどを網羅。さらに日本のハイキングの歴史から週末に楽しむ尾瀬リポートまで「そうだったのか!」がいっぱいの特集だ。

モノ・マガジン7-16 情報号 NO.941
7月2日(火) 発売 特別定価 750円(税込)

●モノ雑誌のバイオニア 毎月2回(2日・16日)発売

mono

発行人●今井今朝春

編集人●前田賢紀

発行所●株式会社ワールドフォトプレス

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1

アーク阿佐ヶ谷

TEL:03(6383) 2331 [編集部]

03(5929) 7682 [メディアビジネス部]

03(6383) 2390 [販売部]

FAX:03(6383) 2583 [編集部]

03(6304) 9443 [メディアビジネス部]

03(6383) 2574 [販売部]

印刷所●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。

●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

実勢価格は編集部調べの価格です。